

とんかつ料理店の前身は惣菜屋だった？

代表の柳本和之さんの祖母が1971年に旧久世町内で開業し、初めは惣菜や仕出し弁当の販売を行なっており、店舗も現在とは違う場所にありました。今でこそスーパーで当たり前のように惣菜が売られています。50年前の当時は惣菜屋なんて珍しかったでしょうね」と和之さんは語ります。

とんかつ料理店に業態を変え、店舗を現在の場所に移転したのは先代の知りさんの時であり、今の人気店の礎を築きました。とんかつ料理店を始めた頃は全国から知り合いの料理人が泊まり込みで訪れて、一緒にメニューの研究をしたのだとか。

現在お店で食べられるメニューはおよそ20種類、1番人気は「国産豚ロースかつ定食 1,350円」宮崎県産の豚肉を中心に厳選した国産豚を使用し、衣に使うパン粉は生パン粉を使用しています。また2種類の油を独自でブレンドし、飽きのこない軽い仕上がりのような工夫をしています。

他にもオードブルや持ち帰り弁当の販売もしており、自宅で気軽にお店の味を楽しむことができます。「時間がたつても美味しく食べられるよう作り方も工夫しています。惣菜屋の頃の経験が活かしていますね」と和之さん。

事業承継直後に新型コロナウイルス感染症の流行

2019年11月に事業承継を行ない、和之さんが代表となつてから2年が経ちました。事業承継した矢先の2020年3月以降の新型コロナウイルス感染症流行の影響により、来店客数は大幅に減少し、お店は大きな打撃を受けました。来店客数が落ち込む中でも、持ち帰り弁当を積極的にPRし、お店に来られないお客様にお店の味を届ける努力を続けました。「緊急事態宣言中でも多くの方が当店の弁当を注文してくれました。それはコロナの流行以前からオードブルや弁当をたくさんの方に利用していただいていた、コロナ禍の中でもふとした時に

お客様が当店の弁当を思い出し出てきたから」と和之さんは語ります。2年前の事業承継に伴って、店舗改装を行なったことも功を奏しています。テーブル席を拡充したことにより、利用客同士の間隔を十分にとることができ、感染防止対策の強化に繋がっています。「これからもお客様に安心して食事をしていただける店づくりを進めていきます」と意気込みを語ってくれました。



▲代表の柳本和之さん夫婦



▲一番人気の国産豚ロースかつ定食

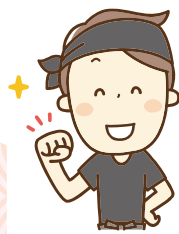


▲持ち帰りメニューとんかつ弁当



▲店舗内観

岡山県真庭市久世2185-1
Tel. 0867-42-3654
営業時間 昼 11:00 ~ 14:00
夜 18:00 ~ 20:00(土日のみ)
定休日 火・水



真庭SDGs パートナー企業・取組み紹介

はじめに ～SDGsとは?～

SDGsとは「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略で、2015年9月の国連サミットで採択された、2030年までの15年間で達成するために掲げた「世界共通の17個の目標」です。

現在、SDGsは産業界において世界的な潮流となっており、ビジネスを通して社会や環境に良い影響を与えることが商売繁盛につながる時代が到来しています。このページでは、管内事業者の皆さまがSDGsに取り組むきっかけやヒントとなるよう、真庭SDGsパートナー*となられている企業の取組みを紹介していきます。

企業紹介

安心・安全な農産物を産地直送でお届けします

有限会社竹中商店

【所在地】岡山県真庭市関22-1

【代表者】竹中政博(代表取締役)

【事業内容】米穀卸売、自社商品小売

【HP】<http://www.umaimono.co.jp/>



米の生産拡大を目的に昭和63年に個人創業し、平成16年に法人成りした企業です。同社は、SDGsが掲げる持続可能な社会を実現し、地域住民の生活向上を目指すことを目的としています。

SDGsの取組紹介

- ①自社精米工場で廃棄物として出た米ぬかを、肥料として米の生産に取り組んでいます。この米ぬか栽培で出来た米を自社ブランド品「一心良米」として増産に努めています。
- ②近隣で自然災害が発生した場合には、会社施設を避難場所として提供すると共に自社の所有する米を炊き出しなどに提供します。
- ③働き方改革を実現し、社員ファーストによる働きやすい会社作りを行っています。



▲自社ブランド品「一心良米」
真庭市ふるさと納税返礼品にも登録されており、好評を博しています

※真庭SDGsパートナーについて

SDGs未来都市・真庭市では、自ら積極的にSDGsの達成に資する事業を展開し、また共に手を携えてSDGsの達成や普及推進に取り組む企業や団体を「真庭SDGsパートナー」として募集しています。

詳しくは真庭市HP「<https://www.city.maniwa.lg.jp/soshiki/3/1092.html>」をご参考ください。

関連施策紹介

小規模事業者持続化補助金

低感染リスク型ビジネス枠

小規模事業者が新型コロナウイルス感染症感染防止と事業継続を両立させるための対人接触機会の減少に資する投資を行い、ポストコロナを踏まえた新たなビジネスやサービス、生産プロセスの導入等の取り組み等を支援するための補助金制度です。

対象 小規模事業者

補助上限 100万円

補助率 3/4

申請締切 令和4年3月9日(第6回締切)

活用例

- ・対人接触機会を減らすため、新たにセルフレジを導入した。
- ・新たに移動販売を始めたことを周知するチラシを作成した。

一般型

持続的な経営に向けた経営計画に基づき、小規模事業者の地道な販路開拓等の取組や地道な販路開拓等と併せて業務効率化の取組を支援するため、それに要する経費の一部を補助する制度です。

対象 小規模事業者

補助上限 50万円

補助率 2/3

申請締切 令和4年2月4日(第7回締切)

活用例

- ・新たな販促用のチラシをデザインしてもらい、新聞折込による周知。
- ・展示会への出店や商談会への参加。

事業再構築補助金

新分野展開、業態転換、事業・業種転換、事業再編又はこれらの取組を通じた規模の拡大等、思い切った事業再構築に意欲を有する中小企業等の挑戦を支援する補助金です。

対象 中小企業・小規模事業者 **補助上限** 100万円～1億円

補助率 1/2～3/4

申請締切 未定(第5回締切)

活用事例

- (飲食業) 店舗営業を廃止し、オンライン専用の弁当宅配事業を新たに開始した。
 - (製造業) 既存事業について、関連設備の廃棄等を行い、医療機器部品製造事業を新規に立ち上げた。
- ※申請には売上減少等の要件があります

岡山県酒類販売事業者支援金

国の蔓延防止等重点措置及び緊急事態措置の適用に伴う飲食店等での酒類提供停止要請により、特に大きな影響を受けた県内酒類販売事業者の事業継続を支援するため、国の月次支援金に上乗せ給付し支援する制度です。

対象 県内に本社(店)又は主たる事業所を有する酒類販売事業者(酒類製造業者、酒類卸売業者、酒類小売業者)

申請要件 国の月次支援金(8・9月)を受けていること

給付額上限 売上減少割合により異なります。

50%以上70%未満		70%以上90%未満		90%以上	
法人	:20万円/月	法人	:40万円/月	法人	:60万円/月
個人事業者	:10万円/月	個人事業者	:20万円/月	個人事業者	:30万円/月

受付期間 令和3年10月25日～令和4年2月28日(消印有効)

真庭市飲食店等 コロナ対策応援事業 補助金

新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、感染症対策に取り組みながら営業している飲食店等を支援する制度です。

対象 真庭市内の飲食店等
(飲食店・宿泊業として営業許可を受けた事業者)

条件 感染防止対策(飛沫防止板、消毒機器の設置、非接触体温計の導入等)を行っていること

補助額 従業員数により異なります。

5万円(従業員数5名以下)

10万円(従業員数6名以上)

受付期間 令和3年7月15日～令和4年1月31日(消印有効)